

おいかわ  
及川ひとみ 議員

# 食物アレルギーの調査は

## 答 各学校で把握し対応



おいしい給食つくってます

**問** 食物アレルギー調査はどのように行われているか。

**教 育 委員 長** 就学時健診の際に、アレルギーの原因食物、給食において希望する対応方法を調査票により各学校でとりまとめている。

**問** 給食で除去食の提供ができないか。

**教 育 委員 長** 除去食と通常食の調理を分離することができないため提供していない。

**問** 子どもは、エピペンを持つ子どもを預かっているか。

※エピペンとは…食物アレルギーによる発作などを一時的に緩和する医薬品。

か。

**こ ども 課 長** 医務室が無く看護師もいないため、預かりの体制が無い。

### 就学援助

**問** 就学援助費を入学準備のため3月に支給できないか。

**教 育 委員 長** 3月に支給する事は難しい。

近隣市町村の動向を踏まえ、今後調査する。

# どう変わる農業委員

## 答 最適化推進委員と連携

**問** 今回の法改正により役割を担えるか。

**農 業 委 員 会 長** 農業者の声を聴き、国や県に対する農業施策に関連した要請は、これまでどおり委員一丸となつて行つていく。

**問** 町長の任命制に一本化され、農家の代表を維持できるか。

**農 業 委 員 会 事 務 局 長** 農地利用最適化推進委員と連携した活動を行うことで体制の強化が図られると考えている。

**問** 法改正に伴う移行のスケジュールは。

**農 業 委 員 会 事 務 局 長** 市民参加の手続きを経て、平成

28年12月の議会に定数条例案を上程し、29年4月に農業委員の募集をする。あわせて最適化推進委員の募集を行う予定。



農業委員会総会



ほそかわけいいち 細川恵一 議員



愛情そそいでます

待機児童

解消に向けた対応は

答 処遇改善と保育士の確保

問 待機児童の解消に向けた課題と対応策は。

教育委員長 現在、保育士の施設で定員を増やすことができない状態である。平成29年4月に開所予定の保育所で定員の増を図る。

問 処遇の問題で免許があっても保育の仕事につかない人も

副町長 町での対応は。近隣でも差があり、内部で調査、検討している。

問 保育士が不足するなか、潜在保育士への呼びかけは。

課長 各施設の職員が同期の人に声をかけたり、情報を集めている。ハローワークでも募集をしているが、3人の欠員がある。

副町長 正職員は3年間の派遣を考えている。臨時・パート職員の継続雇用を事業所に要望している。

問 中央保育所の閉所に伴い、勤務職員はどうなるのか。

副町長 ※潜在保育士とは：保育士や幼稚園教諭の免許を持っていても、保育所、幼稚園、こども園などで働いていない人。

避難行動の計画は

答 ガイドラインを定める



避難所になった志和生活会館

問 災害時に要となるリーダーの育成や日頃の意味疎通が重要と思うが、自主防災組織の現状は。

町長 28年5月末で41団体。行政区や公民館などの地域で組織され、避難訓練や自主研修を行っている。組織のリーダーと情報交換を行っており、訓練の企画や組織運営に支援していく。

問 避難所も被災する想定や物資供給ルートの確保などの対応は。

副町長 地元の情報を収集し、可能な場

所へ避難してもらう。状況に応じ本部と地域消防と連携する。避難所運営については、3・11の志和生活会館での経験を生かす。

問 高齢者などの避難に対する個別計画を急ぎ策定すべきでは。

生活部長 ※個別計画とは：避難に支援が必要な個人と打ち合わせて、具体的な避難方法を策定すること。